第２回盛人大学運営委員会

平成２９年２月３日（金）１０時００分

川口市立かわぐち市民パートナーステーション

次　　第

１　開　会

２　委嘱書交付

３　議事

（１）協議事項

ア　平成２９年度盛人大学受講料について

（２）報告事項

ア　平成２７年度卒業生アンケートについて

イ　第４回協働推進委員会について

（３）その他

４　閉　会

配布資料一覧

資料№１　平成２９年度受講料の算出について　……　１

資料№２　盛人大学平成２７年度卒業生アンケート　……　３

資料№３　盛人大学と市民大学の比較　……　５

資料№４　県内市町村市民大学等開催状況　……　８

資料No.1

平成29年度受講料の算出について

1　基本的な考え

平成28年度以降の受講料については、盛人大学運営委員会（平成27年9月30日開催）審議結果に基づき、以下の考えに基づき設定する。

（1）各コース講師料の上限を20万円とする（但し、農業コースは除く）。

（2）受講料金額を3段階に設定する。

（3）平成28年度受講料の下限は、4，500円（平成27年度受講料）とする。

（4）コース全体として、受講料収入が講師料支出の80％程度となるよう設定する。

（5）過度な受講料増とならないよう激変緩和措置を講ずる。

2　平成27年度及び28年度受講料（参考）

平成27年度

コース	受講料
社会教養	4,500円
カウンセリング入門	
国際	
健康生きがいづくり	
地域デザイン入門	
ボランティア入門	
郷土川口再発見	
社会起業・ビジネス	
農業体験	6,500円

平成28年度

コース	受講料
社会教養	4,500円
国際	
健康生きがいづくり	
ボランティア入門	
郷土川口再発見	
カウンセリング入門	5,500円
社会起業・ビジネス	
地域デザイン入門	6,500円
農業体験	

平成29年度盛人大学各コース受講料（案）

1　各コースの割合を80％に設定し、受講料の端数処理を行なった場合

コース	講師謝礼金年額(a)	受講者数(b)	受講料(c) (a*0.8)/b 百の位切捨て	収納受講料計(d) b*c	割合 (d/a)*100%
社会教養	200,000円	45人	3,500円	157,500円	78.8%
健康生きがいづくり	200,000円	45人	3,500円	157,500円	78.8%
ボランティア入門	140,000円	30人	3,700円	111,000円	79.3%
国際	240,000円	45人	4,200円	189,000円	78.8%
郷土川口再発見	220,000円	40人	4,400円	176,000円	80.0%
カウンセリング入門	200,000円	35人	4,500円	157,500円	78.8%
地域デザイン入門	120,000円	20人	4,800円	96,000円	80.0%
社会起業・ビジネス	200,000円	25人	6,400円	160,000円	80.0%
農業体験	400,000円	35人	9,100円	318,500円	79.6%
合計	1,920,000円	320人	－	1,523,000円	79.3%

2　案-1（基本的な考えを勘案し、3段階に設定した場合）

コース	講師謝礼金年額(a)	受講者数(b)	受講料(c)	収納受講料計(d) b*c	割合 (d/a)*100%
社会教養	200,000円	45人	4,500円	202,500円	101.3%
健康生きがいづくり	200,000円	45人	4,500円	202,500円	101.3%
ボランティア入門	140,000円	30人	4,500円	135,000円	96.4%
国際	240,000円	45人	4,500円	202,500円	84.4%
郷土川口再発見	220,000円	40人	4,500円	180,000円	81.8%
カウンセリング入門	200,000円	35人	4,500円	157,500円	78.8%
地域デザイン入門	120,000円	20人	5,000円	100,000円	83.3%
社会起業・ビジネス	200,000円	25人	5,000円	125,000円	62.5%
農業体験	400,000円	35人	7,000円	245,000円	61.3%
合計	1,920,000円	320人	－	1,550,000円	80.7%

3　案-2（基本的な考えを勘案し、3段階に設定した場合）

コース	講師謝礼金年額(a)	受講者数(b)	受講料(c)	収納受講料計(d) b*c	割合 (d/a)*100%
社会教養	200,000円	45人	4,500円	202,500円	101.3%
健康生きがいづくり	200,000円	45人	4,500円	202,500円	101.3%
ボランティア入門	140,000円	30人	4,500円	135,000円	96.4%
国際	240,000円	45人	4,500円	202,500円	84.4%
郷土川口再発見	220,000円	40人	4,500円	180,000円	81.8%
カウンセリング入門	200,000円	35人	4,500円	157,500円	78.8%
地域デザイン入門	120,000円	20人	4,500円	90,000円	75.0%
社会起業・ビジネス	200,000円	25人	6,000円	150,000円	75.0%
農業体験	400,000円	35人	7,000円	245,000円	61.3%
合計	1,920,000円	320人	－	1,565,000円	81.5%

資料No.2

盛人大学　平成 27 年度卒業生アンケート

盛人大学を卒業されて約 10 ヶ月が経過しましたが、社会貢献活動への参加状況を把握したいため以下のアンケートにご協力をお願いいたします。

１．昨年受講したコースは何ですか。（複数回答可）
①社会教養　②カウンセリング入門　③国際　④健康生きがいづくり
⑤地域デザイン　⑥ボランティア入門　⑦郷土川口再発見
⑧社会起業・ビジネス　⑨農業体験

２．あなたは現在、社会貢献活動を行なっていますか。
①行なっている　②行なう予定である　③行なう予定はない
④過去に行なっていたが、現在は行なっていない。

以下の設問は「設問２の①行なっている」に回答された方のみお答えください。

３．いつから活動を行なっていますか。（複数回答可）
①入学前から　②在学中から　③卒業後から

４．どのような活動を行なっていますか。（複数回答可）
①福祉（高齢者・障がい者・児童などへの支援に関する活動など）
②地域（地域での支え合い・お手伝いなど）
③災害（防災活動、被災地の支援など）
④文化・教育（演芸ボランティア、福祉教育、青少年育成活動など）
⑤国際（外国人への日本語支援、観光ガイドなど）
⑥環境（清掃活動、植栽及び生活環境の保全・保護など）
⑦町会・自治会（役員としての地域活動など）
⑧その他（具体的にご記入ください。）

５．どのような団体に加入して活動していますか。（複数回答可）
①町会・自治会　②ＮＰＯ法人　③社会貢献団体
④団体に加入していないが個人的に活動している。
⑤その他（具体的にご記入ください。）

６．差し支えなければ団体名をご記入ください。

ご協力ありがとうございました。
同封の返信用封筒に入れて、１月１４日までに郵便ポストに投函してください。

平成27年度盛人大学卒業生アンケート集計結果

単位：人

コース	卒業者数（対象者）	回答数（回収率）	2 現在社会貢献活動を行なっているか				3 いつから行なっているか（複数回答）				4 どのような活動を行なっているか（複数回答）									5 どのような団体に加入しているか（複数回答）					
			①行なっている	②行なう予定	③行なう予定なし	④現在は行なっていない	①入学前	②在学中	③卒業後	無回答	①福祉	②地域	③災害	④文化	⑤国際	⑥環境	⑦町会・自治会	⑧その他	無回答	①町会・自治会	②NPO法人	③社会貢献団体	④個人	⑤その他	無回答
A 社会教養	41	31 (75.6%)	21 (68%)	2 (6%)	4 (13%)	4 (13%)	10 (50%)	8 (40%)	3 (15%)	1	9 (43%)	5 (24%)	1 (5%)	5 (24%)	4 (19%)	2 (10%)	4 (19%)	4 (19%)	0	7 (33%)	0 (0%)	10 (48%)	3 (14%)	5 (24%)	0
B カウンセリング入門	33	25 (75.8%)	16 (64%)	4 (16%)	4 (16%)	1 (4%)	11 (73%)	3 (20%)	3 (20%)	1	7 (44%)	3 (19%)	2 (13%)	3 (19%)	2 (13%)	3 (19%)	5 (31%)	1 (6%)	0	6 (38%)	0 (0%)	11 (69%)	2 (13%)	0 (0%)	0
C 国際	38	29 (76.3%)	21 (72%)	3 (10%)	2 (7%)	3 (10%)	13 (62%)	8 (38%)	6 (29%)	0	10 (48%)	6 (29%)	2 (10%)	2 (10%)	8 (38%)	1 (5%)	3 (14%)	4 (19%)	0	5 (24%)	3 (14%)	12 (57%)	6 (29%)	3 (14%)	0
D 健康生きがいづくり	42	30 (71.4%)	18 (60%)	6 (20%)	6 (20%)	0 (0%)	6 (33%)	4 (22%)	8 (44%)	0	9 (50%)	8 (44%)	2 (11%)	3 (17%)	2 (11%)	2 (11%)	6 (33%)	1 (6%)	0	5 (28%)	1 (6%)	9 (50%)	7 (39%)	1 (6%)	0
E 地域デザイン	14	7 (50.0%)	7 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (29%)	3 (43%)	2 (29%)	0	2 (29%)	4 (57%)	4 (57%)	3 (43%)	2 (29%)	2 (29%)	2 (29%)	1 (14%)	0	2 (29%)	3 (43%)	2 (29%)	1 (14%)	1 (14%)	0
Fボランティア入門	26	23 (88.5%)	19 (83%)	0 (0%)	2 (9%)	2 (9%)	9 (47%)	7 (37%)	5 (26%)	0	13 (68%)	6 (32%)	0 (0%)	2 (11%)	5 (26%)	0 (0%)	5 (26%)	1 (5%)	0	3 (17%)	1 (6%)	9 (50%)	5 (28%)	3 (17%)	1
G 郷土川口再発見	36	18 (50.0%)	9 (50%)	4 (22%)	3 (17%)	2 (11%)	5 (56%)	2 (22%)	2 (22%)	0	3 (33%)	1 (11%)	1 (11%)	1 (11%)	2 (22%)	2 (22%)	2 (22%)	3 (33%)	0	1 (11%)	1 (11%)	3 (33%)	4 (44%)	2 (22%)	0
H　社会起業・ビジネス	20	8 (40.0%)	5 (63%)	2 (25%)	1 (13%)	0 (0%)	3 (60%)	2 (40%)	0 (0%)	0	2 (40%)	1 (20%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (40%)	1 (20%)	1 (20%)	0	2 (40%)	0 (0%)	2 (40%)	0 (0%)	2 (40%)	0
I 農業体験	36	23 (63.9%)	9 (39%)	4 (17%)	8 (35%)	2 (9%)	5 (56%)	1 (11%)	4 (44%)	0	1 (11%)	3 (33%)	0 (0%)	1 (11%)	0 (0%)	3 (33%)	1 (11%)	2 (22%)	0	3 (33%)	0 (0%)	0 (0%)	4 (44%)	2 (22%)	0
合計（実人数）	266	179 (67.3%)	112 (62.6%)	24 (13.4%)	29 (16.2%)	14 (7.8%)	60 (54.5%)	30 (27.3%)	31 (28.2%)	2	47 (42.0%)	32 (28.6%)	11 (9.8%)	18 (16.1%)	21 (18.8%)	17 (15.2%)	24 (21.4%)	18 (16.1%)	0	30 (27.0%)	8 (7.2%)	49 (44.1%)	28 (25.2%)	19 (17.1%)	1

※重複受講者はそれぞれのコースでカウントしているため、各コースの集計結果の合計と合計（実人数）の数値は一致しない。

※3以降は、2において「①行なっている」と回答があったもののみ集計している。

※複数回答がある設問（3，4，5）のパーセンテージの合計は100％を超える。（2において①と回答があった数値から無回答数を除いた数値を分母としている）

資料No.3

盛人大学と市民大学の比較

		盛　人　大　学	市　民　大　学
1	担当課（実施主体）	市民生活部協働推進課	生涯学習部生涯学習課
2	運営組織 （学長・運営組織等）	学長（市長）、副学長 盛人大学運営委員会、盛人大学実行委員会 事務局（ＮＰＯ法人輝け盛人及び市協働推進課）	学長(市長) 事務局（生涯学習課）
3	設置根拠	盛人大学事業実施要領	川口市民大学設置要綱
4	事業実施年度	平成18年度	昭和26年度から平成18年度まで夏季大学として実施 平成19年度以降市民大学と名称変更
5	実施目的	50歳以上の方々の交流と地域参加の機会を提供することを目的としている。	生涯学習社会が進展する中で、市民の高度で多様な学習要求に応え、市民の「生きがいづくり」や「自己実現」の達成を目指し、市民がより豊かで、充実した人生を送ることができるために行なうものとする
6	学旨	人、地域、社会がともに成長する	―
7	募集対象	50歳以上の在住及び在勤者 （当該年度中に50歳になる方を含む）	市内在住・在勤在学の１８歳以上の方
8	募集人員（人数）	28年度実績：330人	27年度実績：2,045人
9	受講者数	28年度実績：295人	27年度実績：2,116人（応募者数多数により会場の許す限り受入） 5,736人（延べ人数）

10	受講年齢 （最高・最低・平均）	最年長：86歳、最年少：49歳、平均：65.7歳	18歳から80歳代
11	講座数	9コース	8コース　153回
12	講座内容	社会教養、カウンセリング入門、国際、健康生きがいづくり、地域デザイン入門、ボランティア入門、郷土川口再発見、社会起業・ビジネス、農業体験	英会話・法律・世界遺産・考古学・タブレット・博物館見学・手話・生きがい・ヨガ・文学・美術芸術・家庭教育・歴史等（平成27年度実施講座例）
13	講座日程	農業体験：4月～3月（全25日） その他：5月～3月（全15～17日）	通年実施。各講座４～６回実施。日程は、別途冊子参照
14	受講料・材料費等	受講料：コースにより6,500円・5,500円・4,500円 材料費：実費	受講料：無料 参加費（材料費等）：講座により異なる 公開講座のみ受講料500円を徴収
15	講座実施場所	かわぐち市民パートナーステーション分室ほか	公民館・川口総合文化センターリリアほか
16	講座運営主体	盛人大学実行委員会	生涯学習課
17	講師等選定方法	実行委員が選定する 10,000円/1ｈ定額	職員が協議し決定
18	卒業要件（単位認定要件）等	8割以上の単位取得（出席）及び卒業レポートの提出	受講票を発行 学士（5単位）、修士（10単位）、博士（15単位）
19	説明会	入学式の際に全体ガイダンス、各コースの初日にコースガイダンスを実施	実施していない
20	再受講率	平成27年度：33.9%、平成28年度：29.8%	統計なし

21	予算額（Ｈ２８）	3,683,000円（市補助金：1,600,000円）	27,960,000円
22	決算額（Ｈ２７）	3,135,957円（市補助金：1,452,862円）	22,710,074円
23	外部講師（Ｈ２８）	－	27年度：戸田奈津子氏（公開講座）他
24	アンケート （実施有無及び概要）	受講生、大学祭、講師、卒業生アンケート（予定）を実施し、翌年度以降の運営に活かしている。	受講生にアンケートをとり、次回の企画に活かしている
25	受講者決定方法	定員を超えた場合は、過去3年間受講経験がないかたを優先に抽選する。	定員を超えた場合は、抽選

資料No.4

県内市町村市民大学等開催状況

番号	市町村名	担当部署
	事業名	対象・定員
	概要	
	協働・共催事業の場合の団体名	

※次に該当するものを対象にしている。
（１）市が主催しているもの（共催・協働事業を含む）
（２）年に複数回事業を実施しているもの
（３）１８歳以上を対象にしているもの

1	川口市	市民生活部　協働推進課
	盛人大学	５０歳以上の在住・在勤者 ２０人から４５人（コースにより異なる）
	盛人世代（５０歳以上の中高年及び高齢者）に交流と地域への関わりの機会を提供し、地域の活性化と地域人材の育成を図る。	
	協働（ＮＰＯ法人輝け盛人）	
2	川口市	教育委員会　生涯学習部　生涯学習課
	かわぐち市民大学	市内在住・在勤在学の１８歳以上の方 定員はコースにより異なる
	生涯学習社会が進展する中で、市民の高度で多様な学習要求に応え、市民の「生きがいづくり」や「自己実現」の達成を目指し、市民がより豊かで、充実した人生を送ることができるために行なうものとする。	
	－	
3	さいたま市	教育委員会　生涯学習総合センター
	さいたま市民大学	どなたでも（定員を超えて抽選の場合、市内在住・在学・在勤を優先）１６人から９６人（コースにより異なる）
	生涯学習を進める市民のより高度で専門的かつ多様な学習要求に継続して応えるとともに、自発的な学習活動を促し、豊かな生涯学習社会を築くことを目的に開催。	
	－	
4	川越市	文化スポーツ部　文化芸術振興課
	川越シニアカレッジ「ふるさと塾」	５５歳以上の市内在住者 ３０人
	生涯学習ボランティアとして、子どもたちへの知識、技術、知恵を伝える学習支援方法を修得し、学校や公民館での学習活動を支援できるシニアの育成を目指す。	
	共催（川越シニア大学「小江戸塾」）	
5	川越市	教育委員会　教育総務部　中央公民館
	高齢者教育の充実「中央かがやき学園」	６０歳以上の市民 ５６０人
	高齢者の豊かな経験と知識を生かし、お互いの人間性を尊重し、学びあい、助け合い、地域社会での役割を理解し、明るく楽しく積極的に生きる力を育むことを目的とする。	
	－	

6	熊谷市	教育委員会　中央公民館
	直実市民大学	２０歳以上の市内在住・在勤者 １００人
	市民に対し生涯教育の一環として学習の機会を提供し、心身の健康を培うとともに、社会参加による生きがいを高めることを目的とする。	
	－	
7	熊谷市	教育委員会　妻沼中央公民館
	けやき大学	市内在住・在勤者 ３５０人
	生涯学習の一環として学習の機会を提供し、心身の健康を養うとともに社会参加により生きがいを高める。	
	－	
8	行田市	教育委員会　生涯学習部　ひとつくり支援課
	行田市民大学	原則１６歳以上の市内在住・在勤者 各学年５０人
	多くの市民に生涯学習の場を提供し、一人ひとりが輝き、豊かな地域社会づくりに貢献することを目的としている。２学年で行なっており、各学年２０回の講義（視察ツアー含む）を実施。年度末にはグループ研究発表も行なっている。	
	共催（ＮＰＯ法人行田市民大学活動センター）	
9	秩父市	市民部　歴史文化伝承館
	秩父市大学講座　ちちぶ学セミナー	一般教養コース６０名、専門コース各１０名程度
	秩父地域の自然環境、風土・歴史等の社会環境、文化・民俗芸能等の専門的な講義や実技を学ぶ。	
	－	
10	所沢市	教育委員会　教育総務部　生涯学習推進センター
	所沢市民大学	市内在住・在勤・在学者 ８０人
	所沢市民大学は、市民が学習による自己研鑽を共に進めるため、市民と行政の協働により企画、運営する学習の場であり、各人の自立した地域参加の中で地域に学びを広げ、学習の成果を社会に還元することにより「ふるさと所沢」のまちづくりに貢献することを目的とする。	
	－	
11	飯能市	教育委員会　教育部　生涯学習課
	彩(いろどり)・ふるさと喜樂学	２０歳以上 定員なし（受講者数により会場の教室を決定）
	地域に縁のある「人」から、「もの」や「こと」についてバラエティーに富んだ話を提供します。前期（春）、後期（秋）に７回づつ、実施いたします。	
	共催（駿河台大学　地域連携課）	

12	加須市	教育委員会　生涯学習部　生涯学習課
	加須市シニアいきいき大学	６０歳以上の高齢者 定員は特に定めていない（申込者数に応じて調整）
	高齢社会を明るく活力に満ちたものとしていくため、市内の私立大学「平成国際大学」と連携し、６０歳以上の市民を対象に実施。毎年２つの学部を実施し、１学部２年間を学習期間とする。卒業後は自主活動を行なうサークルの結成を促進し、地域活動や地域のリーダーとして活躍していただくことを目指す。	
	協働（学校法人佐藤栄学園　平成国際大学）	
13	本庄市	教育委員会　生涯学習課
	市民総合大学	シニアコース　６０歳以上の市内在住・在勤者 定員なし ミドルコース　１８歳以上の市内在住・在勤者 講座により定員を設けている
	本庄市生涯学習推進計画の柱となる５つの言葉「みんなで・楽しむ・ひとづくり・まちづくり・全国そして世界へ」を実践し、本庄市のひとづくりとまちづくりの原動力となり、全国に誇れる素晴らしいまち「本庄市」を実現することを目指します。シニアコース・ミドルコース・ジュニアコースで構成します。	
	－	
14	東松山市	教育委員会　教育部　社会教育課
	きらめき市民大学	市民（義務教育就学中の方は除く） 各３０人
	学習成果を市民生活の向上や職業能力の向上に生かし、東松山市のまちづくりに貢献する。	
	－	
15	春日部市	教育委員会　社会教育部　中央公民館
	春日部市庄和地区市民大学	一般市民
	「地域で活動できる人材づくりと人脈づくり」を目的に平成１２年開設。単に自己研鑽の場ではなく協調性をもち、他人の意見や考え方を受入れながら、自らの意識の向上を図るとともに積極的に行動する場となることを目的としている。	
	協働（庄和地区市民大学運営委員会）	
16	春日部市	福祉部　高齢者支援課
	ふれあい大学	６０歳以上の市内在住者 １クラス８０人（２クラス）
	高齢者の方に学習の機会を提供し、心身の健康を培い、併せて社会参加による生きがいを高めることを目的としている。	
	－	
17	春日部市	福祉部　高齢者支援課
	ふれあい大学院	ふれあい大学卒業者で市内在住者 ６０人
	ふれあい大学よりさらに踏み込んだ本格的な知識の習得、人生を豊かにする探究心の向上を目的としている。	
	－	

18	狭山市	市民部　協働自治推進課
	さやま市民大学	概ね１６歳以上の在住・在勤・在学者 ２０人から３０人（講座により異なる）
	①まちづくりを担う人材の育成　②学びの成果を地域社会のなかで活かす仕組みづくり　③学びを通した生きがいづくりと仲間づくり	
	協働（ＮＰＯ法人さやま協働ネット）	
19	羽生市	教育委員会　生涯学習課（各公民館）
	高齢者大学（各公民館により異なる）	６５歳以上の高齢者
	高齢者がその年齢にふさわしい社会的能力を身に付け、積極的に生きがいを求めて学習する機会を提供する。	
	－	
20	鴻巣市	教育委員会　教育総務部　生涯学習課
	市民大学講座「こうのとりアカデミー」	市内在住・在勤者 １８０人
	市民が幅広く教養を習得し、仲間づくりや郷土への理解を深め、自主的に学び、その成果を適切に生かすことを目的とする。	
	共催（鴻巣市生涯学習推進実行委員会）	
21	深谷市	教育委員会　教育部　生涯学習スポーツ振興課
	ふかや市民大学	①～③の要件をすべて満たすかた　①市内在住・在勤者②深谷市に関心があり地域に積極的にかかわる意欲がある③当該年度の４月１日現在で１６歳以上 ８０人
	市民の生涯学習及びボランティア活動への理解を深め、学習を通して人と人とがつながり、そこでの学習成果をまちづくりに生かすことを目的として実施する。	
	－	
22	草加市	教育委員会　教育総務部　生涯学習課
	そうか市民大学	講座内容により異なる
	「学びを通してのきずな形成」を建学の精神に掲げ、「自分をつくる」、「人と出会う」、「まちをつくる」ことを目指し、バラエティに富んだ講座を企画・開催することで、学んだことを地域づくりに活かし、魅力あふれる草加の創造に繋げることのできる人材の育成を図っています。	
	協働（そうか市民大学推進委員会）	
23	越谷市	教育委員会　教育総務部　生涯学習課
	こしがや市民大学	市民 ３００人程度
	学ぶことの楽しさを知り、心豊かに生活ができるよう、市民との協働により多様な学習の機会を提供する。	
	協働（こしがや市民大学企画運営委員会）	
24	蕨市	教育委員会　教育部　生涯学習スポーツ課
	わらび学びあいカレッジ	講座により異なる
	蕨市民参加型の学びの場、また多様な学習機会を提供する場として、広く市民の学習ニーズを取り入れ、市民が主体的に参画し、市民に開かれた生涯学習を推進すること。	
	協働（ＮＰＯ法人わらび学びあいカレッジ）	

25	戸田市	教育委員会　生涯学習課ほか（講座により担当課が異なる）
	戸田市民大学	市内在住・在勤・在学者 定員は講座により異なる
	くらし、教養、市民参画・人材養成コース、健康、スポーツ、大学連携の６コースからなり、様々なテーマを体系的に学習することのできる機会を提供するとともに、地域づくりや地域文化の創造を担う人財の育成を目的としている。講座は生涯学習課をはじめとする９つの課所で講座を提供している。	
	－	
26	入間市	市民部　自治文化課
	入間市民大学	原則として１８歳以上の市内在住・在勤・在学者 定員は講座により異なる
	入間市民大学は、「元気な入間のまちづくり」実現のため、次に掲げる趣旨に基づき開催します。（１）市民の暮らしの質を高め、心豊かに生きていく糧となるカリキュラムを提供し、市民文化レベルの向上を目指します。（２）学んだことをまちづくりや地域の課題解決に活かせるカリキュラムを提供し、コミュニティ活動の充実を目指します。	
	協働（入間市民大学企画運営委員）	
27	志木市	教育委員会　教育政策部　いろは遊学館
	いろは大学	６０歳以上の市民 ８０人程度
	仲間づくり、生きがいづくりを主目的とした生涯学習講座で、受講生が主体となって講座の企画運営に参加する。講座内容は文学、歴史、室内レクリエーション、調理実習、防犯等で、受講生アンケートをもとに計画する。	
	－	
28	和光市	教育委員会　生涯学習課
	和光市民大学／2016　セッション1 「大人の常識 part2」	市内在住・在勤・在学者 ３０人
	和光市及び周辺には、頭脳集団ともいえる国の機関が多く存在するが、その知的資源を地域に公開してもらうことによって、高度で専門的な学習機会を市民に提供することを目的としている。	
	－	
29	和光市	教育委員会　生涯学習課
	和光市民大学／2016　セッション2 地元デビュー＆再発見のための和光学	市内在住・在勤・在学者 ３０人
	居場所が職場から地元に戻った市民、地元を改めて見直したい市民のために「和光」について学ぶ機会を提供する。	
	－	
30	新座市	教育委員会　教育総務部　生涯学習スポーツ課
	新座市民総合大学	１８歳以上の市内在住・在勤・在学者で学習意欲のある方 各学科４０人
	市民一人ひとりが学んだことを地域でいかし、生きいきとした人生を送れるよう自分を高め地域を高める学習の場として開学している。	
	協働（跡見学園女子大学、十文字学園女子大学、立教大学ほか）	

31	桶川市	教育委員会　教育部　生涯学習文化財課
	桶川市平成市民大学	２０歳以上の市内在住・在勤者
	生涯学習の一環として、豊かな教養を身につけるとともに、まちづくり活動の中心となって活動できる人材の養成を図る。市長による講義、大学教授をお呼びしての講義など、全９講座を実施。	
	－	
32	久喜市	教育委員会　教育部　生涯学習課
	久喜市市民大学	３０歳以上の市内在住者 ４０人
	生涯学習活動やボランティア活動を通じて、地域コミュニティづくりの担い手及び指導者・リーダーを育てる。２年制及び大学院を設けている。	
	－	
33	八潮市	教育委員会　教育総務部　社会教育課
	やしお市民大学・大学院	中学生以下を除く市内在住・在勤者 １学年３０人、大学院は１５人以内
	市の発展及び地域活動のために行動できる人材、まちづくりの担い手となれる人材の育成を目的としている。市民大学は２年間の学習過程により卒業することができる。大学院は１年間在籍することができる。	
	協働（ＮＰＯ法人やしおぬくもりネット）	
34	富士見市	教育委員会　鶴瀬公民館
	富士見市民大学	市内在住・在勤在学者 ２０人から７０人（講座により異なる）
	現代的課題の解決に向けた学び合いにより、地域づくりの推進を図る。例年１２講座ほど実施している。	
	協働（ＮＰＯ法人富士見市民大学）	
35	三郷市	教育委員会　生涯学習部　生涯学習課
	みさと市民大学	市内在住の方 ７０人
	市民大学は、生の大学教授の講演を通し、市民の知識の向上及び生きがいづくりの場の提供を目的とする。なお、市民一人ひとりの意欲を高めるとともに、生徒である市民同士の交流を深めるきっけをつくる。	
	協働（立正大学）	
36	蓮田市	教育委員会　生涯学習部　社会教育課　中央公民館
	市民大学	市内在住・在勤で１年間を通して受講できる方 ３０人
	郷土学習、健康生活、一般教養など多くの知識を習得し、新しい友人をつくる。	
	協働（講座により異なる）	
37	蓮田市	健康福祉部　長寿支援課
	寿大学	市内の各単位老人クラブから２名以内の推薦された者 市内単位老人クラブ数×２名
	高齢者が自らの健康と生きがいを高め、さらに地域の担い手としての活力を生かしていくための学習をすることを目的としている。	
	共催（老人クラブ連合会）	

38	坂戸市	教育委員会　社会教育課
	さかど市民塾	講座により異なる ５～２０人
	さかど市民塾は、市民が講師になることにより「教えることは２度学ぶこと」を実践し、講師が「教える生きがい」を持ちながら、併せて市民の学習機会を創造することを目的として、市民から講師を広く公募し、講座を開講する。	
	－	
39	坂戸市	教育委員会　千代田公民館
	千代田大学（高齢者学級）	６０歳以上 ４８人
	受講生が心身ともに健康で、より充実した生活を送れるよう、講座をとおして各種知識を習得していただくとともに、受講生相互の親睦を図ることを目的とする。	
	－	
40	坂戸市	教育委員会　浅羽野公民館
	かるかや大学・浅羽野	６０歳以上の市内在住者 ６０人
	自らの教養を高めるとともに仲間づくりや健康管理に努め、いつまでも元気で楽しく生活できる高齢者を目指す。	
	－	
41	坂戸市	教育委員会　中央公民館
	坂戸にこにこ大学	４０人
	高齢者の生涯学習の一環として、生活の密接した講義・実技等通じ、学びながら生きがいのある毎日を過ごすことを目標とする。	
	－	
42	幸手市	教育委員会　社会教育課　南公民館
	南いきいき大学	５０歳以上の在住・在勤者 ４０人
	シニア層の方々が日々の関わりに深い事柄を中心とした学習を通して豊かな経験と能力を高め、その成果を自らの生活や地域生活に活かし、以って、いきいきと、健康で生きがいのある生活を送ることを目的に実施する。	
	－	
43	日高市	教育委員会　生涯学習課
	日高ライブリーカレッジ	一般市民 １５０人
	受講者参加型の公開講座であり、市民の企画運営委員により、講座の企画運営を行う。	
	－	
44	ふじみ野市	市民生活部　協働推進課
	市民大学ふじみ野	通常コース　１８歳以上の市民・各コース５０人 特別公開講座　１８歳以上の市民・１００人
	市民一人ひとりの学びを支援することで地域活動に寄与できる人材を育成し、「協働のまちづくり」の実現を目指す。コンテンツは市内の企業や病院から提供いただいている。	
	協働（ＮＰＯ法人ふじみ野みらい）	

45	白岡市	教育委員会　生涯学習課
	ペアーズアカデミー	市内在住・在勤の方 ４０人（定員を超えた場合は、講師、会場と調整）
	生涯学習事業の基幹となる事業として多種多様な内容を網羅したペアーズアカデミーを実施し、市民に対し広く学習機会を提供することを目的とする。	
	－	
46	三芳町	教育委員会　生涯学習課　藤久保公民館
	市民大学	特になし ２５人
	「市民が作る財政白書」～自治体財政を学ぶ～	
	－	
47	三芳町	教育委員会　生涯学習課　公民館
	三芳町高齢大学	６０歳以上の高齢者 ４０人から１００人
	６０歳以上の高齢者を対象に地域交流と高齢者の学習活動を目的に実施	
	－	
48	嵐山町	文化スポーツ課
	ふれあい交流センター講座	町内在住・在勤・在学者 定員はコースにより異なる
	ふれあい交流センターが生涯学習・文化活動の拠点となり、住民活動の輪をひろげる。	
	－	
49	小川町	教育委員会　生涯学習課
	町民文学講座	３０歳以上の市内在住者 ２０人から１００人
	生涯学習事業の一環として開催	
	－	
50	ときがわ町	教育委員会　生涯学習課
	ときめき塾	小学生以上の在住・在勤者 １教室あたり１０名程度
	生涯学習の普及促進のため、教えたい人（ボランティア指導者）と学びたい人（参加者）をつなぎ、教えたい人（ボランティア指導者）の発掘と育成を行う。また、将来的には参加者が自ら生涯学習活動を行うよう指導者と共に仕向け、更なる促進につなげようとするものです。	
	－	
51	上里町	教育委員会　生涯学習課
	サルビア学級	どなたでも参加可能だが、講座内容によっては定員の制限を設ける場合あり。
	男女がお互いを尊重し協力しあう男女共同参画社会の実現を目指し、一般教養を高め、より豊かな家庭生活を営むための学習を行う。また、学級のふれあいから連帯を深め、望ましい地域づくりを図る。	
	－	

52	寄居町	教育委員会　生涯学習課　中央公民館
	氏邦大学	６０歳以上
	定年退職後の余暇時間の増大により、より豊かで生きがいのある生活を求め、知りたい、学びたいという自主的な学習意欲は益々高まっており、生涯学習をするきっかけや仲間づくりをしていただき、地域の活動に活かしてもらう。	
	－	
53	杉戸町	教育委員会　社会教育課
	すぎと町民大学	１８歳以上の在住・在勤者 ３０人
	地域づくりのリーダーや行政と住民の協働のまちづくりのための人材育成を目的として実施。	
	－	
54	松伏町	北部サービスセンター
	健康大学	６０歳以上の町内在住者 ２５人から８０人（コースにより異なる）
	高齢者の生活に潤いを持たせ、楽しみながら健康を大切にし、生きがいの充実を図る。	
	－	